

## 煌（きら）めく青春「南関東総体 2014」のコンディショニング ブースで朝日山一男先生と山本明秀先生が活動されました

8月に南関東で平成26年度全国高等学校総合体育大会が開催され、朝日山一男先生は、（一社）神奈川県鍼灸マッサージ師会が鍼灸マッサージのコンディショニングコーナーで協賛した企画リーダーとして活動されました。

神奈川県で行われたレスリング、ハンドボール、ソフトボール、フェンシング、ボクシング、剣道の6競技の会場で、レスリングの4日間を除いて、主に土曜日、日曜日に各会場にコンディショニングブースが設置されました。施術者は述べ121名で、帝京大学スポーツ医療学科2年生1名と神奈川衛生学園専門学校・東京衛生学園専門学校生を含むスタッフ総勢43名が選手の対応にあたり、総計751名の選手や監督に対する施術が行われました。山本明秀先生はレスリングのブースで活動されました。

朝日山一男先生は、「手当てをした選手が戦っている姿を目の前にしたり、優勝を勝ち取った選手と監督がお礼の挨拶に来られるなど、選手と喜びを共有できる時間となりました。」とコメントされました。

インターハイでの鍼灸マッサージのコンディショニングコーナーが設けられた競技のほとんどが初めてで、選手や監督をはじめ多くの関係者から「来年も是非行ってほしい！」との声が多数寄せられていたそうです。

